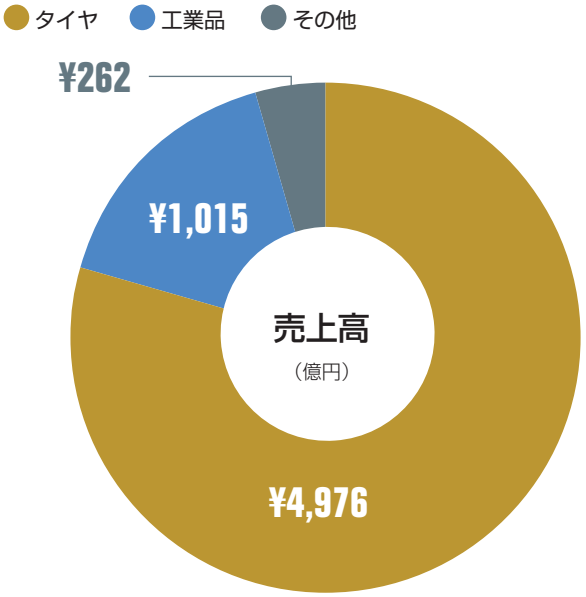
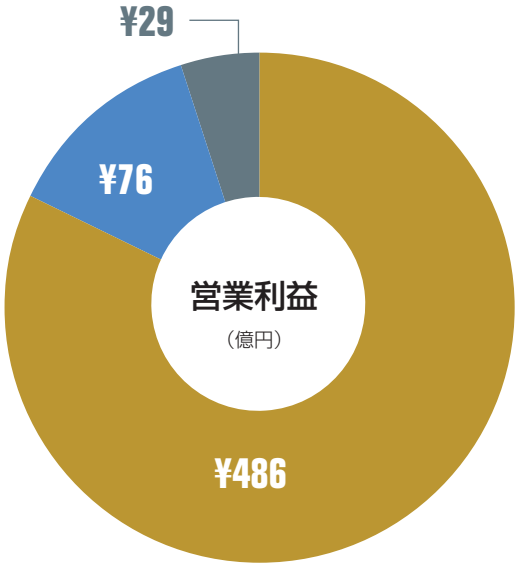
YOKOHAMA AT A GLANCE

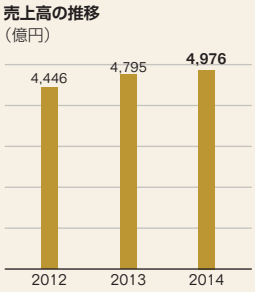


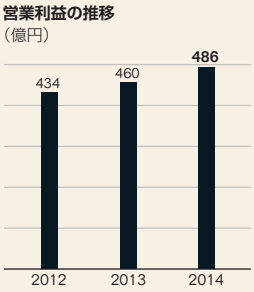


タイヤ事業

主要商品

乗用車用、トラック･バス用、ライトトラック用、建設車両用、産業車両用、アルミホイールなど

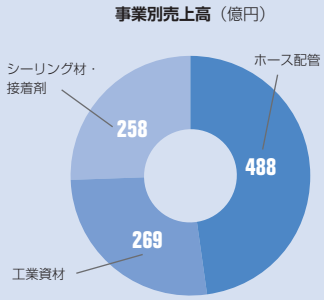


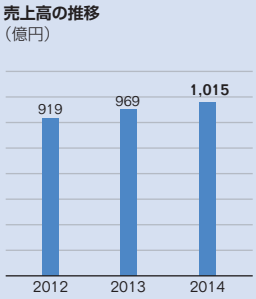


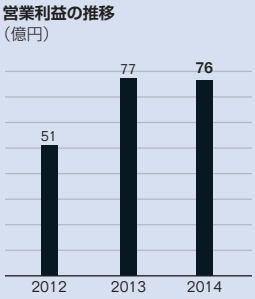
工業品事業

主要商品

ホース配管、シーリング材、接着剤、コンベヤベルト、ゴム支承、マリンホース、空気式防舷材など



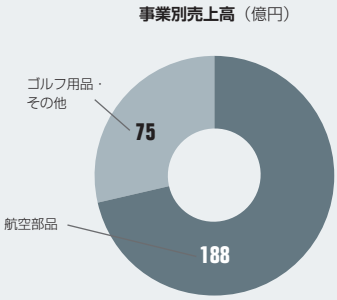


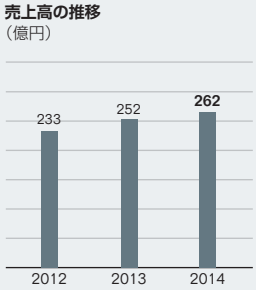


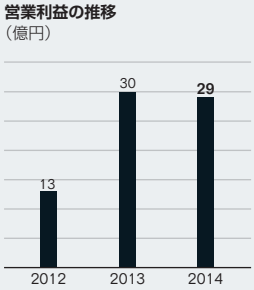
その他事業

主要商品

航空部品、ゴルフ用品







タイヤ事業

桂川　秀人
取締役専務執行役員
タイヤ管掌

生・販・技の協力体制を構築し、グローバルでの販売強化に注力

タイヤ事業では「グランドデザイン100（GD100）」フェーズⅢ（2012-2014年）において、3年連続で過去最高の売上と利益を達成しましたが、販売の伸び悩みが課題として残りました。フェーズⅣ（2015-2017年）では今までにない販売本数の増加を計画し、北米・ロシアを中心とした大需要・得意市場での地産地消促進による販売力の強化を図ります。販売強化策のひとつとして今年2月、イングランドのサッカープレミアリーグの名門チーム「チェルシーFC」とスポンサー契約を締結しました。チェルシーは全世界で4億人のファンを抱える人気チームであり、当社の企業認知度やブランドイメージを飛躍的に高めることが期待できます。今後は、チェルシーと協力した広告宣伝や販売支援策を最大限に活用し、各国市場での増販とシェアアップを図っていきます。その実現のためにも、生産、販売、技術の連携を強化し、スピーディーかつ確実な事業運営を行っていきます。

売上高	¥4,976億円	前期比 ↑3.8%増
営業利益	¥486億円	前期比 ↑5.6%増

乗用車用タイヤ

フラッグシップタイヤブランド「ADVAN」、低燃費タイヤブランド「BluEarth」、冬用タイヤブランド「iceGUARD」、SUV用タイヤブランド「GEOLANDAR」の4つのグローバルブランドの世界販売を拡大し、ハイパフォーマンス＝YOKOHAMAのイメージの確立、浸透を進めています。

トラック・バス用タイヤ

小型トラック用から大型トレーラー用タイヤまで幅広い商品を世界各地で販売しています。また、環境性能やリトレッド性能を高めた商品や超偏平タイヤなど高付加価値商品を積極的に展開し、市場での優位性を確立しています。2015年下期には米国ミシシッピ州でトラック・バス用新タイヤ工場が稼動を開始します。

建設車両用タイヤ

日本に専用工場を有し、高品質な建設車両用（OR）タイヤを生産しています。すでに発売中の49インチ、51インチラジアルタイヤに加え、57インチラジアルタイヤの開発も進めています。また、中国のORタイヤメーカーと提携して技術供与およびオフテイクを行っており、生産能力増強を進めています。

モータースポーツ活動

YOKOHAMAの認知度とブランド力向上のため、FIA世界ツーリングカー選手権（WTCC）などの世界トップレースから各国のローカルレースまで幅広くサポートしています。2014年は米国で人気が高いレッドブル・グローバル・ラリークロスにもワンメイクタイヤを供給しました。

2014年12月期の概況

売上高は前期比3.8%増の4,976億円、営業利益は同5.6%増の486億円となりました。売上高に占める割合は79.6%、営業利益に占める割合は82.3%です。

国内新車用

当期の国内自動車生産は堅調に推移しました。そうした中、販売量では前期を下回りましたが、売上高では前期を上回りました。横浜ゴムグループは低燃費タイヤの新車装着活動を強化した結果、プレミアムカーやエコカー向けタイヤの新車装着を数多くの車種で獲得することができました。

国内市販用

販売量、売上高ともに前期並みとなりました。上期は降雪による冬用タイヤの販売増、消費税増税前の駆け込み需要で好調に推移し、下期は需要減少、価格競争の激化により低調に推移しました。当期、夏用タイヤとして乗用車用低燃費タイヤ「BluEarth AE-01F」、耐摩耗性能と燃費性能に優れるライトトラック用タイヤ「BluEarth LT152R」を発売しました。

海外市販用

販売量、売上高ともに前期を上回りました。中国や新興国が引き続き好調で、欧州も販売が回復しました。米国は旺盛な需要が続いたものの価格競争が激化しました。こうした中、低燃費タイヤ「BluEarth-A」、ウインタータイヤ「W*drive V905」などの海外販売を開始しました。また海外でのタイヤ生産能力も強化し、2014年4月に中国蘇州、同7月にインドで、それぞれ乗用車用新タイヤ工場が稼動を開始しました。またフィリピン、ロシアでも乗用車用タイヤ工場の増強を進めました。

インドの乗用車用タイヤ工場

2015年12月期の見通し

売上高は前期比8.2%増の5,385億円、営業利益は同8.1%増の525億円を見込んでいます。海外向けタイヤの販売増、原料価格の低下、工場の操業度良化によって増収増益を達成する計画です。

MB事業

大石　貴夫
取締役専務執行役員
MB管掌

新規商品開発、コスト削減、人材育成を推進

ＭＢ事業では「グランドデザイン１００（GD100）」フェーズⅢ（2012-2014年）での積極的な海外展開により着実に売上と利益を伸ばし、今後、グローバルで成長する軌道に乗せることができました。2015年はさらなる成長に向け、商品開発の強化、コスト削減、人材育成に取り組みます。商品開発の強化では販売商品を増やすことはもちろん、各国の市場で求められる商品をタイムリーに、安く提供することが重要です。そこで各国ごとの市場戦略を徹底するとともに、既存商品についてもサービスや使いやすさなどの面から改善を図ります。コスト削減はフェーズⅣ（2015-2017年）の全社共通戦略にも掲げた重要課題であり、特別プロジェクトを立ち上げ徹底的なムダ取りを推進します。また、人材育成はグローバル競争で打ち勝つために不可欠であり、外国語をはじめ、従業員の能力アップに役立つ研修を充実させていく考えです。

工業品事業

売上高	¥1,015億円	前期比	↑ 4.7%増
営業利益	¥76億円	前期比	↓ 1.4%減

ホース配管

国内外で自動車や建設機械、各種工作機器向けの高圧ホースおよび金属継手を生産販売しています。建設機械用ホースは国内で高い信頼を獲得しており、米国では北米子会社であるヨコハマ･インダストリーズ･アメリカズが自動車用パワーステアリング用ホースで高いシェアを占めています。

工業資材

マリンホースや防舷材などの海洋商品、コンベヤベルト、橋梁用ゴム支承、ハイウェイジョイントなどを展開しています。海洋商品では空気式防舷材、マリンホースが非常に高いシェアを誇り、世界的に高く評価されています。

ハマタイト･電材

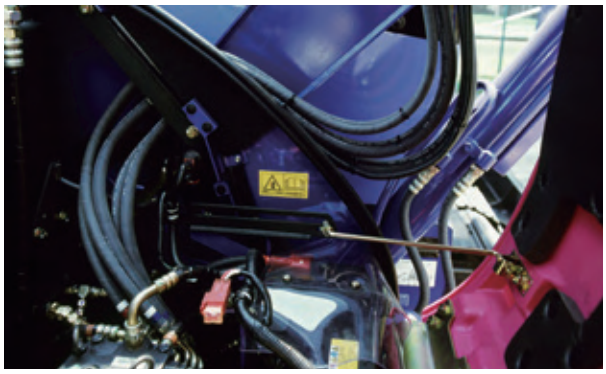
各種シーリング材、接着剤を「ハマタイト」ブランドとして販売しているほか、コーティング剤などを開発しています。建築用シーリング材、自動車窓枠用シーリング材では国内で高いシェアを獲得しています。近年は成長市場である電子･電機分野向けの商品開発にも注力し、スマートフォンやLED製品向けなどの販売を強化しています。

2014年12月期の概況

売上高は前期比4.7%増の1,015億円、営業利益は同1.4%減の76億円となりました。売上高に占める割合は16.2%、営業利益に占める割合は12.8%です。

ホース配管事業

ホース配管は、日本において2014年から小型建設機械の排ガス規制が強化されたのに伴い、旧基準適合建設機械の駆け込み需要が発生したため売上を伸ばしました。米国では2014年4月に工業品子会社2社（YHアメリカ、SASラバーカンパニー）を統合、新たにヨコハマ・インダストリーズ・アメリカズを設立し事業強化を図りました。



小型建設機械用ホース

工業資材事業

工業資材は、防舷材の販売は低調でしたが、コンベヤベルト、マリンホースの販売が堅調に推移しました。また海洋商品事業をさらに強化するため、2014年9月、イタリアのマリンホースメーカーを買収しヨコハマ・インダストリアル・プロダクツ・イタリアを設立しました。

ヨコハマ・インダストリアル・プロダクツ・イタリア

ハマタイト・電材事業

ハマタイト（建築用シーリング材、接着剤）は自動車用、建築用ともに好調に推移しました。

マンションやビルなどのコンクリート外壁用シーリング材の主力商品「UH-01NB」

2015年12月期の見通し

売上高は前期比6.0%増の1,075億円、営業利益は同8.2%増の82億円を見込んでいます。

極寒冷地仕様コンベヤベルト「ICEGUARD AR」

その他

売上高	¥262 億円	前期比	↑ 4.0 %増
営業利益	¥29 億円	前期比	↓ 2.1 %減

航空部品

航空機向けを中心に化粧室ユニット、飲料水タンク、軽量構造材などを開発しており、防衛省や世界の民間航空機メーカーなどへ販売しています。

スポーツ事業

PRGRブランドの各種ゴルフ用品を販売しています。日本国内をはじめ韓国、中国、台湾、東南アジアでの販売活動も強化しています。

2014年12月期の概況

売上高は前期比4.0%増の262億円、営業利益は同2.1%減の29億円となりました。売上高に占める割合は4.2%、営業利益に占める割合は4.9%です。

航空部品事業

官需は補修品、民需は小型旅客機向け化粧室ユニットを中心に堅調に推移しました。

旅客機向け化粧室ユニット

スポーツ事業

日本では消費税引き上げによる需要の落ち込みがあったものの、売上高は前期を上回りました。2014年10月に「iD nabla RS」、同年12月に「NEW iD nabla RED」の新商品を発売しました。

NEW iD nabla RED

2015年12月期の見通し

売上高は前期比3.0%増の270億円、営業利益は同14.1%増の33億円を見込んでいます。